



163

日本ノ出兵ハ管ニ當地方居住日本人ノ生命財産ノ保護タル而已ナラス  
 同地方一般居住者ハ直接間接ニ其ノ餘慶ヲ受ケ賊禍ヲ免カルルコトト  
 ナリ地方民ノ等シク出兵ヲ歡迎シ居レル處ナルヘシ  
 然レトモ日本ノ山東出兵ハ前年ノ例ニ依リ北軍ノ士氣ヲ鼓舞シ内部ノ  
 結束ヲ鞏固ナラシムルニ反シ南軍ニ採リテハ大ナル障碍トナリ延テハ  
 排日排資ノ口實ヲ與フルコトトナルハ誠ニ遺憾トスル處ナリ右ニ關シ  
 日本ハ南方派ニ依リ中央ノ實權ヲ掌握サルルヲ危險視シ陰ニ擴張ヲ以  
 テ之ヲ阻止セントスルモノノ如ク宣傳シ居レル向ナキニシモ非ラサル  
 カ今ヤ東省民ハ張作霖多年ノ虐政ニ加フルニ近年著シク軍費捻回ノ爲  
 メ苛斂誅求ヲ行ヒ省民ハ困憊其極ニ達シ爲メニ漸次民心離反セントス  
 ル傾向アルニ至リタルニ依リ却ツテ北京ヲ放棄シテ奉天ニ歸ヘリ三省  
 ノ保境安民ニ努メナハ張大元帥ノ爲メノミナラス省民等ク幸願ヲ得ラ  
 ルルコトトナルヘシ從テ中央政府ハ何人ニヨリテ左右セラルルモ支那  
 人タル以上敢テ關知スル處ニ非ス然ルニ日本ノ陸相ハ張作霖ト親交厚  
 ク其ノ危機ヲ看過スルヲ得スシテ遂ニ再ヒ出兵シテ昨年ノ如ク北軍ヲ

164

援助スルカ如キコトアラハ之ニ反對セサルヘカラス云々トテ却テ張  
 作霖ノ没落ヲ希望シ居レル向アルハ注目ニ値スヘキ事トス  
 一方四月二十五日奉天省議會會長張成策、總商會會長丁廣文、農務會  
 會長鹿鳴、教育會會長李夢庚等省議會ニ相會シ法區會議ヲ開催シ日本ノ山  
 東出兵反對ヲ決議シ石西法區ノ名義ヲ以テ全國各官廳、法區及新聞  
 社等ニ對シ其ノ旨打電シ張大元帥ニ對シテハ日本政府ニ撤兵抗議ヲ  
 請願スルコトトナシタル事實アルモ右ハ北京外交部ノ日本ニ對スル  
 抗議ニ迎合シタル行動ニ過キスト認メラルルモノニシテ更ニ之カ反  
 響ト認ムヘキモノナシ

露人觀

從來奉天當局ト日本政府ハ政治上、經濟上常ニ相提携シテ利害ノ一  
 致ヲ計リ東三省ノ治安危機ニ瀕セル際ハ常ニ日本ハ居留民保護ニ關  
 口シテ張作霖ヲ内援シ張作霖モ亦日本ノ鼻息ヲ窺フニ餘念ナカリシ  
 カ最近米獨ノ活躍ト露國ノ東三省侵入ノ結果張作霖ノ態度一變シ却  
 テ米獨ニ接近セントスルノ傾向アリ然ルニ表面親日ヲ説ヘ裏面ニ排



目的態度ニ出ツルアルハ實ニ彼支那國民性ヲ露骨ニ物語ルモノニシテ日本今次ノ出兵ノ目的カ聲明通り唯自國民ノ保護ニ留メ多少ナリトモ南軍ノ進出ヲ阻止スルカ如キ行動ハ此ノ際執ルヘキ策ニ非ラストテ反張的態度ヲ示シ居レリ

尙長春在任赤系露國人僑ニ於テハ今次ノ出兵ニ對シ大ニ警戒ヲナシ日本ハ漸次東鐵南部ヲモ威嚇スルニ至ルヘントナシ東鐵副理事長「シェーヴキチ」ハ長春驛長「オストロ、フスキー」ニ對シ日本ノ軍事行動狀況調査方一層勢力ヲ要スル旨密令ヲ發シ之カ情報蒐集ニ努メ居レル向アリ

「以上」

秘

電信寫

昭和3 四七二五

暗

倫敦

本省 五月三日前着

亞

田中外務大臣

佐分利代理大使

第七三號

山東派兵ニ關シテハ往電第五八號ノ外各新聞ハ毎日戰況ヲ報道シ居ルノミナルカ二日「ガーデアン」ハ大要左ノ如キ論說ヲ掲ケタリ尙同日朝刊ハ何レモ大臣發在米大使宛電報第八九號ノ件ヲ掲ケタリ

日本ノ山東出兵ハ英ノ上海派兵ト趣ヲ異ニス即チ濟南派兵ニ依リ支那ハ自由商埠地ノ規定ヲ後悔スルニ至ル可ク又山東鐵道ヲ保護運轉スルハ軍事的ニ北方ヲ助ケル事トナルヲ以テ南方ノ抗議カ北

方ヨリモ嚴重ナルハ當然ナル可シ日本カ往年濫々還シタル山東ノ首府ヲ一時的ニセヨ占領シタル以上南北何レカノ戰勝者ハ日本ノ山東撤退ニ付再ヒ世界ノ輿論ヲ喚起スルノ必要ニ迫ラル可シ而シテ支那其ノ後ノ實情ニ鑑ミレハ世界ノ同情ヲ得ルコトハ不幸ニシテ前回ノ如ク確實ナラサルヘシ  
獨、伊、米、佛、白、露へ轉電セリ



支那郵局

第一號

カ

寫送付先 庶部長 支社長 哈事長 谷公所長 奉 鐵 開 長 地事長  
特務機關 總領事館 憲兵分隊

奉公前第二一號

昭和三年五月三日

奉天公所長 鎌田 彌助

副 社 長 殿

# 極 秘

山東出兵ニ對スル支那紙反對理由 (某要人談)

今次日本ノ山東出兵ニ對シ奉天側谷支那新聞カ猛烈ニ反對ノ氣勢ヲ揚ケ居レルハ實ニ左記事項カ一般ニ信セラレ居ルニ因由スル。即  
蔣介石ト上海日本總領事トノ間ニ山東戰地ニ於ケル日本居留民ニ對シテハ各戸ニ銀三百元宛ヲ支給ス、其代リ日本軍隊ハ南軍ノ行動ヲ阻止妨害セストノ密約成立セリ  
右密約アルカ爲南方諸新聞ノ態度ハ緩ニシテ奉派諸新聞ノ論鋒カ急ナル所以ナリト觀ラレテ居ル。

(了)



亞細亞局

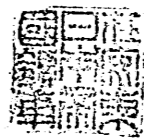
第一課甲

昭和三年五月九日 接受  
附屬書添附

機密第一二八號

昭和三年五月五日

在安東 領事 岡田 兼



外務大臣男爵 田中 義一 殿

在濟南日支軍隊衝突事件ノ反響報告ノ件

貴電合第九六號ニ關シ日本軍隊ニ多數ノ死傷者ヲ出シタルハ南軍ノ強キ  
結果テレハ張作霖ノ没落速カテルヘシトテ官民共稍落付カサル模様アリ  
又五日東邊時報ハ別紙切抜ノ通り日本ハ支那國內ノ戰爭ト關係無キニ拘ラ  
ス公然戦死三十餘名テリト云フカ如キハ何等カ底意アルカタノナルヘシ

6112312

在安東日本領事館

記

ト論セリ有

右ノ通ニテ差シタル反響モ無之ニ付電報ヲ差控ヘ郵報ス

本信寫送附先 在支公使 奉天總領事

在安東日本領事館

○日人無故發號外  
 日人無故出山東藉名保護日僑生命財產其費未必非別有用意近於日昨安東新報忽發出號外到處散放據該號外聲稱日本特校在濟南戰死三十四名日軍除華兵千餘名之武裝等情查我華國內戰事與日方何涉彼竟張大其詞公然承認戰死三十四名按其用意殆別有所在歟

在安東日本領事館

